

議会だより

2023年4月発行

梶原正憲

☎ 44-4719

📞 090-5389-9936



春をつげる 自宅の岩つつじ



小塚公園の桜(今坂町)



寿北小学校卒業式



チューリップの花言葉
「思いやり・博愛」

学校の入学・進級や会社の入社などの門出を祝う時期となり、桜や草花が咲き、清々しい季節となりました。皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

侍ジャパンのWBCでの世界一は、レベルの高さに団結力とチームプレイによる素晴らしい快挙であり、多くの国民が歓喜に酔いしれたことと思います。

今年の9月から開催される「燃える感動かごしま国体・かごしま大会」には、選手をはじめ市民による気運醸成を図り、競技の円滑運営や鹿屋市民ならぬ「もてなし」により成功裏に終わるよう尽力して参りましょう。

私も、この4月をもって市議会議員として「40年の尊い経験」を踏えました。

更なる鹿屋市発展や市民生活向上に向けて、「心機一転」今後も「初心を忘れずに、真摯に、元気に」議会・議員活動を行っていく覚悟であります。

さて、鹿屋市議会3月定例会は、2月22日から3月22日までの29日間開催されました。

中西市長は、令和5年度の市政運営においては、社会経済情勢や国・県等の動向を十分注視しながら、総合計画をはじめ各分野の個別計画等を着実に推進し、“もっと元気な、もっと豊かな、もっと住みやすい”「未来へ大きく羽ばたくまちかのやの実現」に向けて取り組んで行く。

特に、「人口減少対策ビジョンの実現」「第二次かのや農業・農村戦略ビジョン等の実現」「コンパクトシティの実現」「脱炭素社会・デジタル社会の実現」を重点的に取り組むと力強く表明しました。

さらに、令和5年度一般会計などの「当初予算議案6件」、令和4年度「補正予算5件」、職員定数条例など一部改正の「条例議案18件」、人権擁護委員の「諮問3件」、和解及び損害賠償の「報告3件」が上程され慎重審議されました。その結果は「原案可決」「適任」となりました。

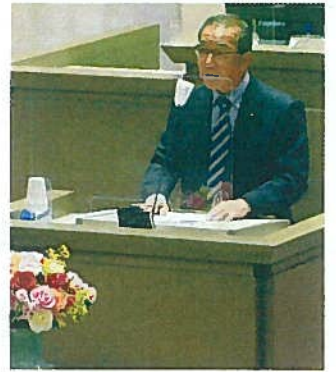
一般質問に代表(4会派)・個人(6人)が登壇し、多岐にわたり当局見解を質しました。私共、政経クラブにおいては、①「ひとが元気、まちが元気、未来へつながる健康都市かのや」の実現に向けた今後の財政運営、②郷土の歴史や文化に対する理解を深め、郷土愛の醸成を図る「鹿屋市史」編さん及びバーチャルミュージアムの設置、③都市計画道路「寿大通線」と市道「東原線」の整備、④「持続・安全・強靱」な上水道事業の遂行と令和5年度の主要政策、⑤保健体育の「がん教育」の取り組み・課題について代表質問を行いました。(P2～P3参照してください)

尚、3月末をもって24名の職員の皆様が定年退職となりました。長年にわたり産業振興や福祉向上・教育行政等にご貢献されましたことに対し「感謝と敬意」を申し上げ、今後も「豊富な経験」を基に市政発展にご助言やご指導をお願いすると共に、ご健勝をご祈念申し上げます。

令和5年3月議会一般(代表)質問要旨並びに本会議等での当局答弁要旨

1 財政について

- (1) 「ひとが元気、まちが元気、未来へつながる健康都市かのや」の実現に向け、5つの基本目標に加え「鹿屋市人口減少対策ビジョン」や「第2次かのや農業・農村戦略ビジョン」等に基づいた施策、事業を着実に推進する予算として、令和5年度の鹿屋市一般会計当初予算は過去最大の580億2千万円となっている。今後、予想される公共施設等総合管理計画など歳出増が考えられることから財政運営に対する考えを示されたい。

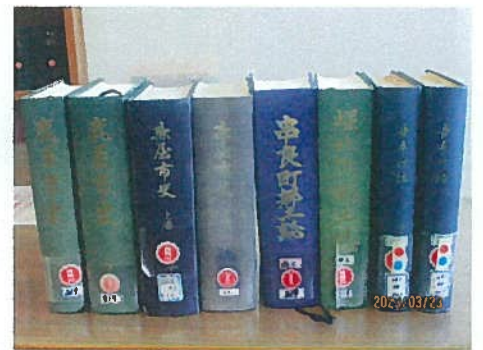


代表質問スナップ

(答弁) 鹿屋女子高の新校舎建設など大型事業や子育て支援策を充実してきた中、本市の財政指数は、県内19市においても上位に位置し、健全財政を堅持しているところであり、今後においても人口減少対策の推進や新たな工業団地の整備による雇用の創出、デジタル化など、地域の未来につながる取り組みを進めるとともに、地域産業の活性化などによる市税の増収、ふるさと納税の確保、国・県補助金の活用などの歳入確保、歳出面では事業の重点化、選択と集中を図る。将来を見据えて必要な取り組みに重点的かつ積極的に投資していくための財源を生み出していく。

2 鹿屋市「市史」編さん及びバーチャルミュージアムの設置について

- (1) 鹿屋市史「上巻・下巻」の発刊以後の歴史を再確認すると共に、郷土の歴史や文化に対する理解を深め、郷土愛の醸成を図るため、新たな「鹿屋市史」を編さんする時期に来ていると考えることから見解を示されたい。
- (2) バーチャルミュージアムの設置の考え方を示されたい。
また、今年度事業の「かのや風土記」の進捗状況を示されたい。



鹿屋市史

(答弁) 「鹿屋市史」上巻は、市制施行25周年(昭和41年)、下巻は、明治100年記念(昭和43年)改訂版は、市制施行50周年(平成3年)を記念事業として「市史編さん室」を設置すると共に、プロジェクトチーム等の組織を設けて編さんされた。新市の歴史を後世に伝え残していくことは意義のあることと考える。3年後の令和8年度は、新市誕生20周年を迎えることから「鹿屋市史」の編さんも含め、周年事業等により検討していきたい。

現在、バーチャルミュージアムの具体的な計画はないが、今日のデジタル社会に対応し展示方法としてICT機器を使用することは有益なことと認識しており、ICT教材の活用に向け、準備を進めている。まずは、文化財資料のデータ化などを優先し、資料の収集に努める。

「かのや風土記」は、鹿屋市の歴史、自然、文化、人物などを中心に編さんし、「この1冊があれば、鹿屋を学べる・語れる」書籍として、令和5年3月に市内の小・中学校・高等学校や市立図書館に配布予定。

3 都市計画道路「寿大通線」と市道「東原線」の整備について

- (1) 寿大通線は、鹿児島空港、東九州自動車道等へのアクセス道路並びに地域幹線道路として都市計画決定から約30年経過しており、地域発展や安全・安心対策上からも早期完成が望まれるところであることから第2期工事計画の進捗状況を示されたい。
また、第2期工事以降の国道269号までの見通し及び国道220号までの事業化への展望を示されたい。



市道 東原線歩道設置へ

- (2) 東原線の笠野原地区における歩道新設についての考え方を示されたい。

(答弁) ① 寿交番前交差点から札元1丁目リッチモンド前交差点までの約560メートルを2期区間として平成30年度から県が事業に着手し、用地買収は70筆のうち36筆完了し、交番から北側に延長181メートルの区間西側の歩道を整備する工事が、令和5年2月に発注され着実に進捗している。また、2期区間北側から国道269号及び国道

220号交差点までの区間については、交差点が短い区間が連続していることへの対応や補助事業などの財源対策などの課題があり、県において事業化へ向けた検討を行っている。

- ② 国道220号バイパスのミネサキ旭原店南側交差点から鹿屋東中学校南側の市道「尾曲線」との交差点までの区間、約300メートルが未整備となっていることから現地調査や交通調査等を実施したところであり、歩行者の安全確保からも事業化に向けて財源対策も含めて取り組んでいく。

4 上水道事業について

(1) 人口減少や施設の老朽化・耐震化に伴う課題などに対応し、持続可能な水道事業の経営を推進するため「鹿屋市水道事業ビジョン」が策定され、5年目を迎えている。前年度の評価結果を踏まえ、基本目標である「持続」「安全」「強靱」に基づいた取組を遂行されていると考えるが、コロナ禍、資材・物価高騰、気象変動などの現状から財政・投資面の懸念もある中、目標達成に向けての所信と令和5年度の主要政策などを示されたい。



水道管路工事

- ① 自然災害や凍結等による水道管路の漏水、破裂事故の状況を示されたい。
- ② 新水道ビジョンにおける管路の老朽化、耐震対策をどのように進めていくのか。
- ③ 水道施設への侵入防止対策として監視カメラ設置の見解を示されたい。
- ④ 窓口業務などの包括業務委託の調査、検討の進捗状況を示されたい。

- (答弁) ① 自然災害や凍結事故では、破損・漏水箇所の修繕や給水車による応急給水を実施し対応した。
- ② 40年を超過した管の経年化率は、29.05%、管路更新率は、0.43%、基幹管路の耐震適合率は、61.2% (R.3年度末)、漏水・修繕箇所の多い管路及び民地に埋設された配水管を道路へ布設替え、基幹管路の耐震化は計画的に実施している。令和5年度の主事業は、管路整備事業 3億1,139万円、水道施設更新事業5億990万円、水道施設拡張事業 5,000万円、流量計ボックス設置事業 700万円などである。
- ③ 侵入防止対策として先にフェンス設置を優先的に実施しており、今後、監視カメラの設置は計画的に行い、セキュリティ対策を強化に努める。
- ④ 費用の再検証の結果、再任用職員や会計年度任用職員の採用等から従来通り直営とする。

5 がん教育について

(1) 学習指導要領の改訂により令和2年度から小学校、令和3年度から中学校、令和4年度の高等学校新入生から、保健体育で「がん教育」を全面实施することが明記されているが、これまでの取組状況と課題について示されたい。

また、外部講師派遣などの支援事業について示されたい。

(2) 地域の実情に応じた「がん教育」を実施し、自分と他者の命と健康を大切にすることを更に充実・強化・推進させるため、今後の方向性について示されたい。

- (答弁) 市内の全小・中学校及び鹿屋女子高等学校で、各校のねらいを踏まえ、系統性や発達段階を考慮しながら実施している。課題は、がん教育を含めた多くの今日的教育課題に対する時間の確保が難しいことなどがある。県の外部講師派遣の支援事業は、希望してもなかなか決定されないが、昨年度小学校1校が決定され、NPO法人「がんサポートかごしま」の方から、がんの種類や罹患しやすい世代を学んだり、がん経験者の方の話を聞いたりし、がんに対する理解を深めた。
- 今後の方向性については、関係機関と連携し、教育活動全体を通じた、がん教育を含む健康教育の一層の充実に向けて適切な指導を行っていきたい。

当局答弁については、おおむね「良」とするところでありました。質問した件名の施策推進が答弁の通り、確実に実施され、成果が上がっているかどうかを、今後も検証・精査しながら、機会あるごとに意見・要望を申し上げることを表明して、質問を終わりました。

令和5年度一般会計当初予算の概要・・・580億2,000万円

鹿屋市総合計画に掲げる「まちづくりの将来像」ひとが元気！まちが元気！「未来につながる健康都市 かのや」の実現に向け、5つの基本目標に加え、「鹿屋市人口減少対策ビジョン」や「第2次かのや農業・農村戦略ビジョン」等に基づいた施策・事業を着実に推進する予算として編成されております。

基本目標1. やつてみたい仕事ができるまち（事業費22億4,643万円）

基本施策 (1) 活力ある農林水産業の振興 (2) 商工業の振興と雇用の促進

主なる事業

- ① 畑地高度利用促進事業・・・事業費2,121万円（輪作体系の確立他）
- ② 畜産産地力向上対策事業・・・事業費2億5,519万円（クラスター事業他）
- ③ 鳥獣被害防止対策事業・・・事業費6,372万円（鳥獣捕獲奨励金他）
- ④ 漁業経営強化支援事業・・・事業費900万円（種苗購入支援）
- ⑤ 新たな食・農ビジネス創出事業・・・事業費3,215万円（輸出拡大他）
- ⑥ 新たな工業団地整備事業・・・事業費1,323万円（県大隅支場跡地）
- ⑦ 多様な働き方応援事業・・・事業費7,803万円（情報プラザの整備他）
- ⑧ 地元就職支援事業・・・事業費1,444万円（求人情報発信他）

基本目標2. いつでも訪れたいまち（事業費29億6,196万円）

基本施策 (1) 地域資源を生かした観光の推進 (2) スポーツによる交流の推進
(3) 移住・定住の推進

主なる事業

- ① かのやばら園リニューアル事業・・・事業費1,942万円
- ② かのや観光PR事業・・・事業費2,568万円（インバンド誘客他）
- ③ かごしま国体・かごしま大会開催事業・・・事業費4億6,597万円
- ④ スポーツ施設整備事業・・・事業費4億6,883万円（野里運動施設他）
- ⑤ 移住・定住の推進・・・事業費2,247万円（支援金他）



野里運動公園の鳥瞰図
ちようかんず

基本目標3. 子育てしやすいまち（事業費40億811万円）

基本施策 (1) 子育て支援の充実 (2) 未来につながる教育の充実

主なる事業

- ① 高校生応援給付金の支給・・・事業費1億9,848万円（16歳から18歳までの子供1人当り月額5,000円）
- ② 学校給食費の負担軽減・・・事業費1億8,988万円（給食費の半額支援）
- ③ 出産・子育て支援事業・・・事業費1億402万円（妊婦・こども1人当たり5万円支援）
- ④ 小・中学校大規模改修事業・・・事業費13億9,794万円（西原小・吾平中他）

基本目標4. 未来につながる住みよいまち（事業費41億8,679万円）

基本施策 (1) 快適な生活基盤づくりの推進 (2) 安全で安心な生活の実現
(3) 自然環境にやさしいまちづくりの推進

主なる事業

- ① コンパクトシティ推進事業・・・事業費9,460万円（住宅取得支援他）
- ② 道路整備事業・・・事業費9億6,795万円（2号水道線・野里川西線他）
- ③ 市営住宅改善・改修事業・・・事業費10億6,679万円（平和市営住宅改修他）
- ④ 危険空き家解体支援事業・・・事業費2,700万円
- ⑤ 雨水・排水対策事業・・・事業費4億6,998万円（5号排水路他）
- ⑥ 環境対策推進事業・・・事業費3億8,163万円（畜産環境対策他）



平和市営住宅 改修

基本目標5. ともに支え合い、いきいきと暮らせるまち（事業費10億9,661万円）

基本施策 (1) 地域福祉の充実 (2) 健康づくり・生きがいづくりの推進
(3) 共生協働・コミュニティ活動の推進

主なる事業

- (1) 子ども・高齢者見守り支援事業・・・事業費2,704万円（送迎用バス防止装置他）
- (2) 農福連携推進事業・・・事業費263万円
- (3) 文化会館長寿命化・・・事業費8,933万円（舞台照明操作設備他）
- (4) 地域活動基盤強化事業・・・事業費1,050万円（町内会活動支援）